グループホームのぞみの里

目標達成計画

作成日　令和8年8月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	出来るだけ個別で話す機会を多く設け、本人の思いや意向の把握に努められることを期待する。	今まで以上に一人ひとりのおもいやいこうを把握して職員間で情報の共有をはかり本人の希望に沿った支援を行って行く。	まずは隣りに座り、今までの事若い頃の話しを、していただき、はなしをいっぱいきいてあげる。信頼関係を図る。	3ヶ月
2	26	プランの策定においては、支援内容を具体的にされることを期待する	その人らしく過ごせるように、本人の好きなことややりたい事をプランに組み込み実現を目指して支援を行っていく。	大まかな目標ではなく、具体的な目標を決めて、本人がより良くくらすために話し合い、実行していく。	6ヶ月
3	40	利用者が選択できるようなよびかけや対応を職員間で徹底されることを期待する。	一人ひとりの尊重とプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしていく。	○○さん、どうしますか？○○さんどうしましたか？　など命令調子ではなく、うかがいをたてるように進めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。